



5周年特別号!

松山市民病院 病児保育 アイビー通信



病児保育「アイビー」開設5周年を迎えて

一般財団法人永頼会 松山市民病院
理事長 山本祐司



「アイビー」命名の由来は、「永頼会」の創設理念である「萬世永頼(ばんせいえいらい)ー永遠の信頼」を花言葉とするアイビー (Ivy) からであります。

2017(平成29)年、内閣府の企業主導型保育園事業に申請し、まず「松山リエール保育園」として認可を受け開園しました。一般保育「えいらいキッズ」を外部委託で、病児保育「アイビー」については松山市民病院の保育管理課で直接運営(保育士5、6名)しております。

小児科医師による的確な診断に基づいた病児保育は、医療と保育の質を保証するものであり、「アイビー」利用中は医師・看護師らによる診察・投薬も受けられます。症状に応じて病棟入院になる場合もあり、保護者の皆さんからの信頼も厚いと感じております。

松山市に限らず、市外・県外からの利用者さんもあり、大きなメリットとなっています。

2022年11月で開設5周年を無事迎えられたことを感謝し、保育士・職員一同新たな気持ちで病児保育に取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。

これからも地域社会のために

一般財団法人永頼会 松山市民病院
常務理事・事務長 浅野光孝



松山リエール保育園をご利用いただき、まことにありがとうございます。
運営管理をサポートしております、浅野光孝と申します。

園設立に際し、松山市民病院が地域のために、当院だからこそできる施設として、一般保育に病児保育を併設致しました。おかげさまで、この5年間で延べ5,720人のお子さんをお預かりさせていただきました。コロナ感染症の流行が長期化するなか、保育ー看護ー医療が一連となって、日々感染対策に注力しております。地域に根付きつつあること、そして事故なく無事に5周年を迎えることができたのも、ご利用者の皆様をはじめとした関係者の方々のご理解の賜物と感謝申し上げます。

病児保育は、ご家庭それぞれの子育て支援であると同時に、就労されている保護者の皆様の様々な社会活動を円滑にし、地域全体に恩恵をもたらす役割も担っています。これからも安心・安全・快適をモットーに、職員一同励んで参りたいと存じます。



病児保育アイビーのスタッフ



小児科医師



看護師



保育士



事務